

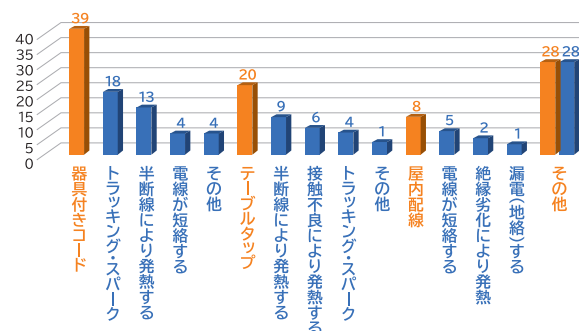


次は、「電気配線類」と「電気製品」が出火原因となった火災、それぞれについて見てみよう。

2_1 「電気配線類」の火災

令和6年の「電気配線類」の発火源と経過の上位3つについてまとめました(図2)。1位が「器具付きコード」2位が「テーブルタップ」3位が「屋内配線」となり、火災に至る経過としては「トラッキング・スパーク」、「半断線により発熱する」が多い結果となりました。

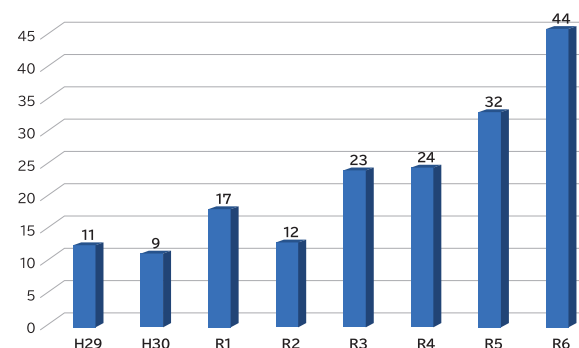
図2 電気配線類の発火源と経過(令和6年)



2_2 「電気製品」の火災

「電気製品」による火災のうち、リチウムイオン電池の火災件数にフォーカスします。過去8年間の「リチウムイオン電池が起因する火災件数」は急激に増加しており(図3)、令和6年には「電気製品」の半数以上が「リチウムイオン電池」が原因の火災となっています。近年、リチウムイオン電池がモバイルバッテリーや家電製品等、様々な製品に使われており、そうした中で、リチウムイオン電池の劣化や衝撃を与えたことにより出火する、などのケースが増えています。

図3 リチウムイオン電池が起因する火災件数



おわりに

近年、テーブルタップやモバイルバッテリー等の製品をインターネットで安価に購入できるようになりました。利便性が高まった反面、安全性に欠ける製品の購入やメーカーが推奨していない製品の使用により、火災になる事案が増加しています。今後も安全性に欠ける製品やメーカーが推奨していない製品を使用することの危険性を啓発し、トラッキング防止機能付きのテーブルタップや安全装置付きモバイルバッテリー等のメリットを伝えていきたいと思います。本稿が今後の更なる火災件数の減少につながり、火災予防の啓発の一助となれば幸いです。



出火原因と火災件数から、近年の火災の傾向を知って、火災予防啓発に役立ててね。

「調べて、広めて、市民を守る。」



いつもは調査鑑識の現場で役立つ情報を実際の現場での活動をもとにお届けしているけど、今日は、「令和6年の火災状況」について説明するね。



「令和6年の火災状況」…火災についてのどんなことを知ることが出来るのですか？

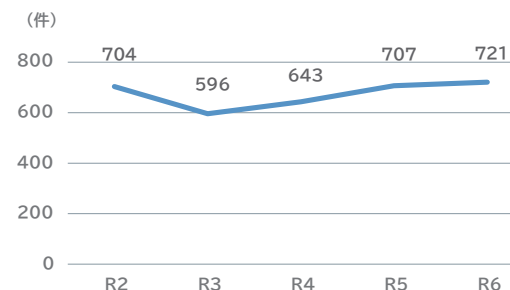
毎年発表される、前年の「火災状況」は、火災件数と出火原因について、1年分のデータをまとめたものだ。ここでは、過去5年間分の統計と比較しながら、令和6年の特徴についてまとめたよ。



1 火災件数

令和2年から5年間の火災件数の推移を示します(図1)。令和6年の火災件数は721件、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された令和2年は704件、コロナ禍の令和3年には596件と火災件数は減少していましたが、令和3年以後は、増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染防止に伴う行動制限がなくなったことが火災件数の増加に関係していると考えられます。

図1 火災件数(過去5年間)



2 出火原因

令和2年から5年間の出火原因(表1)のトップは「たばこ」で変化はありません。令和6年を見ると、出火原因の2位は「電気配線類」で95件、3位は「電気製品」で86件となっており、「電気配線類」または「電気製品」が出火原因となる火災が過去5年間で最も多い結果となりました。

表1 過去5年間の出火原因と火災件数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1位	たばこ 134	たばこ 98	たばこ 125	たばこ 130	たばこ 115
2位	放火 115	放火 96	放火 73	放火 82	電気配線類 95
3位	電気配線類 75	電気配線類 65	電気製品 68	ガスこんろ 79	電気製品 86
4位	ガスこんろ 58	電気製品 61	電気配線類 64	電気配線類 74	放火 77
5位	天ぷら油 58	天ぷら油 50	天ぷら油 54	電気製品 72	ガスこんろ 58
6位	電気製品 49	ガスこんろ 38	ガスこんろ 46	天ぷら油 47	天ぷら油 51





実科査閲

見え隠れする春の兆しを感じ始めた3月27日、第17回初任教育の実科査閲と修業式が挙行され、6ヶ月間の厳しい訓練を耐え抜いた初任教育生は、大切な方々に成長した姿を披露しました。

ロープ訓練では、自身と仲間を確実に守りながら人を救う方法、そして要救助者を必ず救うという「熱い気持ち」を学びました。

ポンプ訓練では、消防活動の根幹となる「消火要領」を学び、救急訓練では、救急救命技術はもちろんのこと、傷病者に寄り添う「優しい心」を学びました。



修業式

次回予告

- 第118回初任教育生入校の様子
- 山岳徒歩訓練

ウィアー ルーキーズ!

大阪府立消防学校 初任教育生 月間報告

We are Rookies!

3月
救急ラリーⅡ



結果発表の様子

結果発表

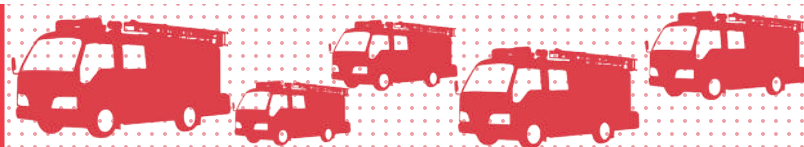


救急車付きの特製トロフィー

5月号で紹介した『救急ラリー』は、第1小隊が小隊優勝を果たしました。
全28班のうち、最優秀賞に輝いたのも同じ第1小隊の第1班でした。



第1小隊小隊長土田学生
最優秀賞の第1班



高槻市消防本部

指導救命士派遣研修を実施しました

高槻市消防本部では、平成29年度から指導救命士の養成・運用を行っており、これまで本市での活動のみならず、検証会議への参加や地域MC協議会への参画など、地域救急医療の発展に寄与してまいりました。

運用開始から一定期間が経過し、更なる指導救命士の活躍と救急隊員のレベルアップを図るため、令和6年度に計36回の指導救命士派遣研修を実施しました。

本研修は、指導救命士を各署所に派遣し、救急車同乗実習を行うものですが、救急事案を受令するまでの間は、想定訓練や座学などを実施し、限られた時間を有効活用することで、より効果的・効率的な研修となるよう努めました。

また、昨年10月に改定された病院前救護活動プロトコルの円滑な運用にあたり、救急隊員が抱く疑問の解消に資するなど、非常に良い機会となりました。

今後も様々な訓練や研修を実施し、救急業務の高度化を推進することで、一人でも多くの市民を救命できるよう邁進してまいります。



摂津市消防本部

防災学習・災害活動車が交付されました

令和7年1月24日、公益財団法人日本消防協会より摂津市消防団に「消防団防災学習・災害活動車II」が交付されました。

この車両は、消防団を中心とした地域の総合的な防災力の充実強化を図ることを目的として、平時には地域住民に対する防災学習の場で活用され、災害時には人員や資器材の搬送に使用されます。車両は4WDで10人乗りの1BOXタイプで、耐久性やオフロードでの走行性に優れ、さまざまな用途に対応可能です。

さらに、煙体験ハウス一式、消火訓練資器材、AEDトレーナーセット、発電機および投光器等も同時に交付され、これにより一層充実した防災活動が期待されます。今後、この車両は災害現場での現場活動部隊へのサポートや地域住民の防災意識向上のための様々な消防訓練に活用される予定です。

摂津市消防団は、この新しい防災学習・災害活動車の導入を契機に、これからも市民の皆様の安全・安心を守るために尽力していきます。



守口市門真市消防組合消防本部

人気ユーチューバーとコラボ「107万回の広報」

守口市門真市消防組合では、防火・防災の啓発活動の一環で、人気ユーチューバー、Lazy Lie Crazy (レイクレ) とのコラボレーションによる、火災予防広報を実施しました。この様子を、レイクレのYouTubeチャンネルで公開いただき、令和7年4月現在で107万回の視聴回数を記録しました。これにより当消防組合SNS (Instagram) のフォロワー数が増加し、「Instagramを見た!」という声掛けもいただきました。内容はレイクレが一日消防士体験をするというもので、火災予防広報だけでなく、訓練の過酷さや署内での日常生活など、普段では知る事のない消防士の実態を、幅広い年齢層に知ってもらう機会となりました。

今後も時代にあった新しい広報活動にチャレンジし、守口市・門真市に捉われず、全国の方々からも興味を持っていただける消防組合を目指したいと思います。



守口市門真市消防組合消防本部



泉州南広域消防本部

現場隊員への予防教育～予防は人命救助の最前線～

予防課では、予防未経験者や新人職員などの現場隊員を対象として『現場隊員特化型の予防教育プログラム』を行っています。

設備関係では、現場隊員用の「消防用設備等活用マニュアル」を警備課と協力して作成し、各職員へ配布しています。

危険物関係では、実験キットを各署に持ち込み「危険物出前型研修」と題して第4類危険物の引火点の違いや燃焼範囲、泡消火薬剤の種類やアルコール類の特性などの研修を行っています。

また、新人職員の研修では、連結送水管や排煙設備、危険物・ガス漏洩事故の対応等について実技も取り入れ、現場直結型の研修を行うことで予防の知識が「将来」ではなく「すぐに役に立つ知識」であることを認識させています。

取り組み開始以降、全国各消防本部、消防学校からの問い合わせ、講義依頼もいただいております。

これからも職員全体に予防課の取組みや目的を浸透させ、組織全体を強くし、住民の生命、身体及び財産を災害から守ります。

～地域防災の輪、ひろがっています～

大規模災害の発生時に求められる、行政機関と地域の連携。このコーナーでは、いざという時の地域防災力向上のために、大阪市消防局が行っている様々な取組を紹介します！



煙中体験

西淀川区ジュニア防災リーダーークラブとは？
西淀川区ジュニア防災リーダーークラブは、地域防災力の向上を目的として、令和6年12月22日（日）に発足。将来、防災の担い手となる若い世代を対象に、災害時の行動力や判断力を養うための防災教育を行っています。

事務局は、西淀川区役所防災安全課にあり、区内在住または区内の学校に通う中学生・高校生47名が登録されています。



消火訓練

第1回研修会を開催！
寒さの残る令和7年3月2日（日）、高度専門教育訓練センターにおいて、クラブ員にとって初となる総合的な研修会を、西淀川区役所地域支援課と合同で実施しました。

研修会では、まず防災に関する講義があり、基本的な無線機の使い方について説明を受けました。参加者は、初めて触れる無線機に苦戦しつつ、「どうすれば相手が聞き取りやすいかな？」と試行錯誤していました。煙中体験では、実際に訓練棟の中で枯れ木などを燃焼させ煙の動きを確認するとともに、空気層を崩さ



CSR訓練施設における救助訓練

ず低い姿勢で避難することを学び、炎や煙の恐ろしさを体感しました。

さらに、訓練標的ではない本物の炎に対する消火訓練や、可搬式ポンプによる放水訓練といった実践的な訓練も行いました。CSR訓練施設（地震などを想定し、瓦礫を組み合わせ、狭い空間や多くの障害物の中で救助活動する施設）では、テコの原理などの説明を受けた上で、ジャッキやボールといった救助資器材を活用した訓練も実施。瓦礫に挟まった人を救出するという想定でしたが、中高生ならではの柔軟な発想で取り組む姿も見られ、頼もしく感じました。

時折笑顔を交えながら、終始メリハリと活気あふれる訓練となりました。参加者も指導にあたった職員からも、自然と笑みがこぼれていました。



避難訓練



可搬式ポンプ放水訓練

今後の展望
継続は力なり。今後も定期的に訓練を行い、将来的には災害時における応急救助活動や、避難所運営支援に広げることも期待されます。ジュニア防災リーダーークラブの訓練を通して、消防職員も一緒に切磋琢磨し、刺激を受けながら地域防災力の向上を目指し、災害に強いまちを目指していきます。

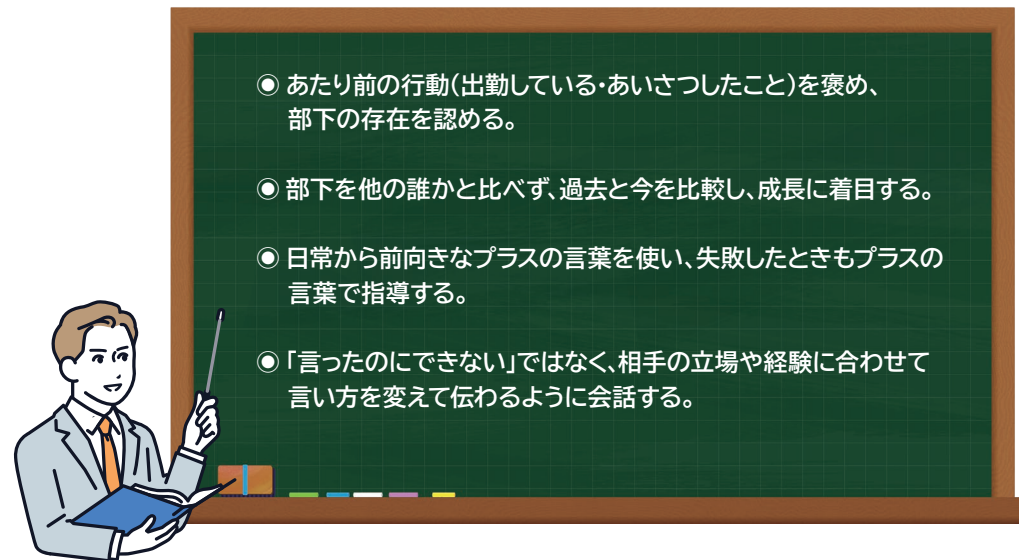
人材育成のヒント Vol.3

はじめての部下指導

ーリーダーとしての心構えー

大阪市消防局で培われてきた多くの技術・知識は、先輩方の指導のもと、脈々と受け継がれてきたものです。皆さんも自ら学んだことを次世代へ伝える指導力（聴く力、伝える力、人柄）を身に付け、リーダーとしての基礎を築くことが必要となります。

早ければ採用3年目頃から、後輩の指導に関わる職員もいますが、若年期の「リーダーの芽」は、まだまだ新芽です。次のスキルを身に付け、新芽から大樹へと成長してくださいね。



- あたり前の行動(出勤している・あいさつしたこと)を褒め、部下の存在を認める。
- 部下を他の誰かと比べず、過去と今を比較し、成長に着目する。
- 日常から前向きなプラスの言葉を使い、失敗したときもプラスの言葉で指導する。
- 「言ったのにできない」ではなく、相手の立場や経験に合わせて言い方を変えて伝わるように会話する。

◆ プラスの言葉

プラスの言葉は、自らだけでなく周囲の人にも良い影響を与えることができます。より良い職場環境をつくることに繋がりますので、日常会話で使えるようトレーニングが必要です。

例:「挑戦する価値があるね」「君ならできる」「素晴らしい、ありがとう!」



担当者Kのよもやま話

前向きな、背中をひと押ししてくれる言葉を掛けられると、やる気が満ちてきたり、勇気や元気が出てきたりしませんか?「言葉が脳を変える」というのは、脳科学の世界では有名な話だそうです。「プラスの言葉」は「考え方」をプラスに変え、「行動」をプラスに変え、そして「結果」をプラスに変えていきます。訓練などでも、ポジティブな声掛けをして、良い結果が出るよう取り組んでみましょう!



さて、今回ご紹介するのは「延陽伯」というお噺です。八五郎という独り者の男が主人公。ある日、大家から縁談を持ちかけられますが、お相手の娘は器量よしのうえに夏冬ものもそろえているという願ったり叶ったりの縁談話。あまりにも好条件なので、不審に思った八五郎が大家さんに聞いたしますと、娘さんにはやはり難点が。幼少の頃に京都のお公家さんのところへご奉公へ行っていたんで言葉が丁寧過ぎるというのが唯一の欠点。八五郎は「なんだ、それくらいのことか。」と喜んで嫁にもらうのですが…。



さて、お噺の冒頭で登場するのが「高津宮・高津神社（こうづぐう・こうづじんじや）」です。「高津の宮の昔より」と大阪市歌に唱われ、これまでにご紹介した「高津の富」や「親子茶屋」のほか「崇徳院」に「いもりの黒焼」、「高倉狐」など、数多くの上方落語の舞台になっている高津宮は、「高津さん」の愛称で親しまれ、古くから大阪の文化の中心として脈々と続きました。毎年7月の夏祭では、さまざまな演芸や落語会が奉納され、絵馬殿では「だんじり囃子」にあわせて龍おどりが賑やかに行われます。

わらわこんちよう、たかつがやしるにさんけえなし、まえなるはくしゅばいさてんにやすろお、はるかさいほうをながむれば～*

*「私は今朝、高津の宮さんへご参詣に参りました。その前に白酒を売っている茶店があって、そこで腰を下ろして遙か西の方を眺めていると～」と言っています。

プチ上方言葉講座 「せこい」

【意味】
悪い・醜い・少ない・ずるい
考え方や手法がけちくさい など

【使用例】
「あんた、そんだけ願ひ事したわりにはお賽銭10円で、かなりせこいで。」



さてさて、今月の消防落語は、そなえ亭南海の「火事の引越」です。若手とは少し違う、落ち着いた趣のある一席です。令和6年11月に「OBCラジオまつりふれあい広場」に出演した際の高座をアップしていますので、是非、ご覧ください。



住宅用火災警報器で歌おう♪

全国的に住宅火災件数と住宅火災による死者数は、住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置義務化がスタートした平成18年以降、減少傾向にあります。さらなる火災による死者数の低減を目指して取り組んでいかなければなりません！そこで、私たち「住宅用火災警報器設置・維持管理促進PRソング制作委員会（通称：住促P委）」では、本市にふさわしい住警器PRソングを作成するため、全国の消防本部で制作されている住警器PRソングを調べたところ、あるわあるわ、ということで……。

今月ご紹介するのは、宮城県石巻地区広域行政事務組合消防本部の「僕は住警器」です。一般住宅への住警器の設置が義務化されてから14年経過した2023年に、本体交換等の維持管理を促進するために制作されたものです。作詞・作曲は、住警器広報キャラクターである住警器マン2号が担当。楽しみながら住警器の設置・維持管理の大切さを学べる内容となっています。

同本部では「石巻広域消防」に関する広報を目的として、公式Youtubeチャンネル「ISHINOMAKIF.DネットTV」を運営し、他にもたくさんの動画を公開されています♪



☆石巻地区広域行政事務組合消防本部
〒986-0805
石巻市大橋1丁目1-1
消防本部ウェブサイト <http://isyoubou.jp/>



僕は住警器

作詞・作曲／住警器マン2号

みんなが寝ている時だって 僕はいつも見守る 何よりも一番に君に知らせるよ
火事はない方がいい 誰も悲しまない方がいい それはみんなも同じ気持ちでしょ？
僕をつけた方がいい 命は何にも代えられない それは皆だって分かっているはずでしょ？
ほんの少しの時間と ほんの少しの費用で 暮らしに大きな安心を与えます
壁に取りつけてもいいよ僕は火災警報器
家族みんなの命の見張り役だよ

いつかは壊れる日が来るよ 君が気付かないうちに
そのいつかは今日かも明日かも知れない
点検をした方がいい 10年で換えた方がいい いざという時鳴らなきゃ意味が無い
ボタンを押すだけでいい 紐を引いてみるだけでいい それは誰にだってできることだから
火災予防運動のたびに点検してほしい
日頃の備えが安心を作ります できれば連動がいいよ僕ら火災警報器
家族みんなの命を守りたいのです

取り換えは連動でいかが？僕だって繋がっていたい
気になるあの子は台所 いつでも連絡できるように
本当はない方がいいよ 僕の活躍なんて 君の穏やかな日々が続くように
忘れないでね住宅用 僕は火災警報器
家族みんなの幸せの見張り役だよ



【石巻広域消防公式チャンネルISHINOMAKIF.DネットTV】
<https://www.youtube.com/@ISHINOMAKIFDTV/videos>



住促P委
委員長

アコースティックポップでいい感じ(^_^♪ 1番は「設置」、2番は「維持・管理」のことを歌っているのね。住警器が1人称で語っているところがポイントかな。参考にしま～す。